

(様式1)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	40	学校名	宇都宮市立城山西小学校
----	---------------	------	----	-----	-------------

令和2年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

「人間尊重」の教育を基盤とし、知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康で、思いやりのある豊かな心を持ち、確かな学力を身に付けた社会の一員としてたくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- 情操豊かで、思いやりのある子供（やさしく）
- 自ら学び、よく考える子供（かしこく）
- 健康で、やりぬく子供（たくましく）

2 学校経営の理念

平成17年度より小規模特認校に指定され、特色ある教育活動を推進してきた結果、学校統廃合の危機を脱することができ、伝統ある学校として存続できている。

今年度も児童数を維持するために、地域連携をキーワードに、「小さな学校だからこそできること」をコンセプトにした本校の特色ある教育活動を推進する。

教職員の積極的な学校経営への参画のもと、第2次宇都宮市学校教育スタンダードの「誰もが安心して学べ、活力あふれる学校」の実現を図るために、城山地域学校園の小中一貫教育における教職員や児童・生徒の交流を生かしながら、「自他を尊重し、郷土に愛着をもち、諸活動を通して互いに高め合う児童生徒の育成」に努めていきたい。

本校の具体的な取り組みとしては、「一人一人を大切に授業」を中心に、5つの公約「会話科の継続・充実」「文化人の先生方との授業実践」「地域との確かな連携」「食農体験を通じた食育の推進」「放課後活動（こがし桜スクール）の運営」を継続しつつ、以下の3点を柱として全教職員で指導に努めていきたい。

「会話科」の継続・充実に努め、英会話の時間や外国語活動、外国語科、ことばの時間で培う表現力やコミュニケーション力を他教科や日常生活に生かせるように努める。

また、食農体験を基にした「食育」を推進し、地域の協力を得ながら、食と農に関する学習活動や体験活動を展開する。給食農園の食材や地産地消の食材を給食に取り入れ、教職員・児童全員で食する給食の時間を有効利用する。

そして、妻木律子先生と連携した「体幹を鍛える運動」や各種運動検定の充実により「体力の向上」を図り、運動を楽しませることを通して生涯体育につなげていきたい。

3 学校経営の方針

- (1) 学校・地域・行政が一体となった「新たな学校の創造」を推進するため、教職員の適材適所を図り、本校の実情に即した教育課程の編成と実践に努める。また、教育者としての使命感と愛情をもった教師力の向上に努めるとともに、業務の効率化を図り、労働時間の適正化に努める。
(学校運営の適正化)

- (2) 児童一人一人のよさを認め励まし、自己肯定感を育み、居がいのある学校・学級づくりに努める。
(学級経営の充実)
- (3) 全教職員の共通理解のもと、児童・保護者と教職員との信頼関係を深め、情操豊かな教育環境と縦割り班（なかよしグループ）における異学年とのかかわりを大切にし、他人を思いやるこころ豊かでたくましい児童の育成に努める。
(豊かなこころの育成)
- (4) 学力の基礎・基本である読む力・書く力・聞く力・話す力の確実な定着を図り、体験的な学習や問題解決的な学習を通して、学ぶことの楽しさや成就感を体得させ、自ら学び自ら考える力の育成に努める。
(学習指導の充実)
- (5) 進んで運動に親しみ継続できるような手立てを工夫するとともに、保健・安全指導の充実に努める。
(体力向上と保健安全教育の充実)
- (6) 学校・家庭・地域・行政と連携を密にしなが、小規模特認校として魅力ある開かれた学校づくりに努める。
(魅力ある学校づくりの推進)

[城山地域学校園教育ビジョン]

ともに学び合う城山っ子を育む地域学校園

学校園内小中学校が連携し合い、地域の教育力を生かしなが、「自他を尊重し、郷土に愛着を持ち、諸活動を通して互いに高め合う児童生徒」の育成に努める

4 教育課程編成の方針

(1) 基本方針

新学習指導要領が全面実施となることを踏まえ、前年度の反省と新学習指導要領移行期間の留意点を十分に生かした教育課程の編成に努める。

また、地域とともにある学校づくりを推進するため、地域協議会の意見を踏まえなが教育課程を編成し、開かれた教育活動を推進していくとともに、家庭・地域・企業等と連携し、地域の教育力を生かした特色ある教育活動の充実に努める。

(2) 留意点

- ・教科等横断的な視点で、各教科等の関連付けを図りなが教育課程を編成し、カリキュラムマネジメントの充実に努める。
- ・学校マネジメントシステムを有効活用し、地域協議会委員の意見を生かした教育課程の編成に努める。
- ・学校便りの地域への回覧や、ホームページの適宜更新をとおして、学校の教育活動に対する家庭・地域への積極的な情報提供を行う。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- ・全職員による指導体制を確立し、報告・連絡・相談の励行に努める。
- 小中一貫教育を充実・継続し、義務教育9年間を見据えた教育活動に努める。
- 業務を効率化し、労働時間の適正化を図る。

(2) 学習指導

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教材研究に努める。
- ・実社会や実生活に関連した課題を取り上げるなどして、主体的に学習に取り組む態度を育む。
- 読む力、書く力、聞く力、話す力など、「学力の基礎基本」の確実な定着を図る。
- ・自ら問題を発見し、解決する学習の展開を工夫する。

(3) 児童生徒指導

- ・高学年が低学年の児童を兄弟姉妹のように面倒を見るという伝統を大切にしていく。(縦割り班の活動)
- 宇都宮学や地域の教育資源の活用に積極的に取り組み、郷土を誇りに思う気持ちを育てる。
- ・児童指導上の諸問題についての情報を共有し、個人でなく全職員が同じスタンスで組織として対応する。

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

- 地域学校園内小学校で統一した各種検定カードや教科体育を通して、体力の向上と、運動に親しもうとする態度や能力の育成に努める。
- ・食農体験を通じた食育の推進に努める。
- 交通安全指導や避難訓練等を通して、児童の危険予測・危機回避能力の向上に努める。

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・思いやりにあふれた豊かなこころの育成
- ・地域のすばらしさを理解し、地域に貢献していこうとする態度の育成
- ・生き生きと自己を表現し、相手の思いを理解できる「聴く」態度の育成
- ・会話科や外国語活動，外国語科で培ったコミュニケーション力を生かした，自ら学び，考える力の育成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

- ◇食と農に関連した学校農園活動
- ◇地域の自然や歴史・伝統を学ぶ時間の設定
- ◇地域高齢者や様々な分野で活躍する地域の方々との交流活動
- ◇表現力やコミュニケーション力を身に付けるための多様な活動（英会話・ことばの時間，外国語活動・外国語科）
- ・文化人の先生方との特色ある学習活動（◇体幹を鍛える運動を含む）
- ・こがし桜スクールとの連携

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

① 基本的考え

学校の特色ある行事や、地域の活性化につながる行事を、合同行事として共に実施することをとおして、連携・協働を進めていく。また、各分野で活躍している地域の人材を講師としてお招きし、学習活動の充実を図る。

② 主な取組

- ・孝子桜まつり，古賀志山清掃登山，地域合同運動会等の実施。
- ・地域人材の指導による，田植え，ホタル育成等の体験学習や，学校と地域の歴史に係る講話等の専門的な学習の実施。

- ・県立盲学校との合同行事の実施，社会福祉法人舘舘会との交流

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

学校園内小中学校が連携し合い，地域の教育力を生かしながら，「自他を尊重し，郷土に愛着を持ち，諸活動を通して互いに高め合う児童生徒」の育成に努める。

② 主な取組

- ・学習の基礎基本（・読む力・書く力・聞く力・話す力）の確実な定着
- ・小中合同のあいさつ運動の推進

(3) 不登校対策

① 基本的考え

新たな不登校を生まないために，学校組織として不登校の未然防止に努めるとともに，不登校の早期発見・早期対応に努め，現在不登校の児童には継続的にかかわり続けることにより改善を目指す。

② 主な取組

- ・魅力ある学級づくり
- ・欠席共有シートの活用
- ・いじめ等対策委員会の活用